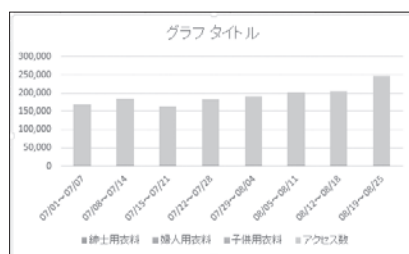


1 複合グラフ

複数のデータ系列のうち、特定のデータ系列だけグラフの種類を変更できます。たとえば、棒グラフの複数のデータ系列のうち、ひとつだけを折れ線グラフにして、棒グラフと折れ線グラフを同一のグラフエリア内に混在させることができます。同一のグラフエリア内に、異なる種類のグラフを表示したものを「複合グラフ」といいます。複合グラフは、種類や単位が異なるデータなどを表現するときに使います。複合グラフを作成する手順は、次のとおりです。

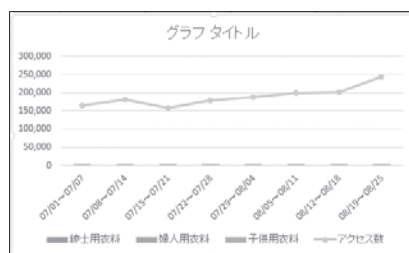
1 基本グラフを作成する

両方のデータをもとに、基本となるグラフを作成します。



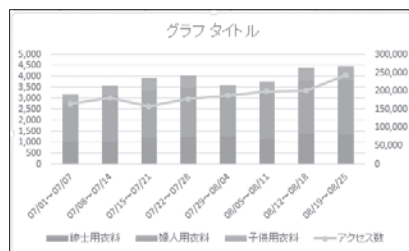
2 特定のデータ系列のグラフの種類を変更する

特定のデータ系列を選択して、グラフの種類を変更します。同一グラフエリア内に、異なる種類のグラフが表示されます。



3 第2軸を追加する

第2軸を追加して、グラフ全体のバランスを整えます。



複合グラフ作成の制限

2-D (平面) の縦棒グラフ・折れ線グラフ・散布図・面グラフなどは、それぞれ組み合わせて複合グラフを作成できますが、3-D (立体) のグラフは複合グラフを作成できません。また、2-D (平面) でも円グラフは、グラフの特性上、複合グラフになりません。

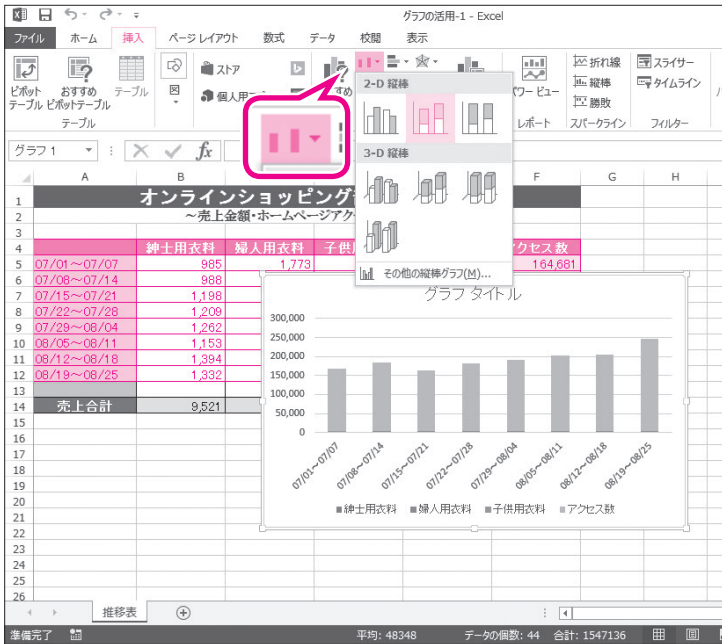
2 複合グラフの作成

積み上げ縦棒グラフと折れ線グラフをひとつにまとめた複合グラフを作成しましょう。

File OPEN フォルダー「第3章」のブック「グラフの活用-1」を開いておきましょう。

1 基本グラフの作成

セル範囲【A4:D12】とセル範囲【F4:F12】のデータをもとに、複合グラフを作成しましょう。



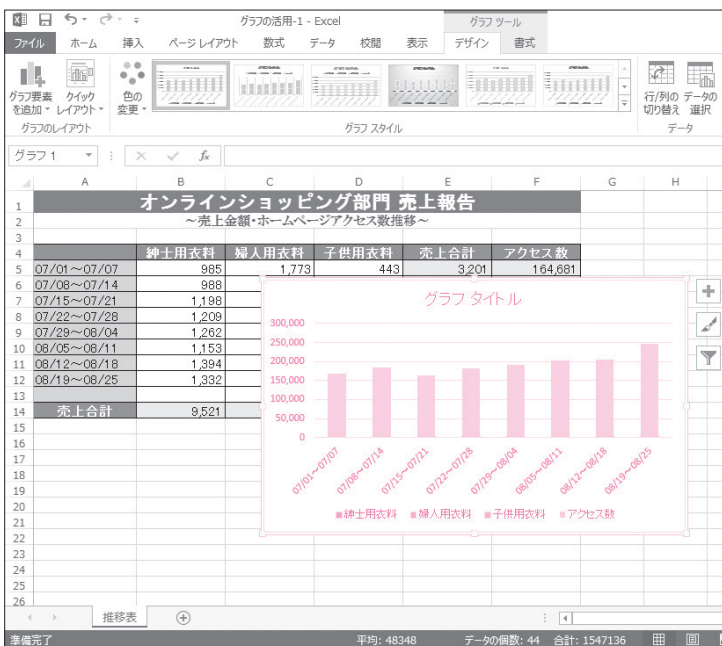
- ① セル範囲【A4:D12】を選択します。
- ② **[Ctrl]**を押しながらセル範囲【F4:F12】を選択します。
- ③ 《挿入》タブを選択します。
- ④ 《グラフ》グループの (縦棒グラフの挿入)をクリックします。
- ⑤ 《2-D縦棒》の《積み上げ縦棒》をクリックします。

縦棒グラフが作成されます。

※グラフの右側にグラフ書式コントロールが表示されます。

※リボンに《デザイン》タブ・《書式》タブが追加され、自動的に《デザイン》タブに切り替わります。

※グラフのもとになる数値に開きがあるので、この段階では「紳士用衣料」や「婦人用衣料」、「子供用衣料」のデータ系列(棒)がほとんど表示されません。



1

2

3

4

5

6

7

8

9

総合問題

付録1

付録2

索引